

## 略歴

昭和49年生まれ。大分県出身。47歳。金沢区富岡東在住。妻と2女の4人家族。平成9年、創価大学法学部卒業。平成15年、米国・ワイオミング大学大学院 公共政策学 修士課程修了。大手物流会社を経て、平成27年4月、横浜市議員に初当選、現在2期目。



# コロナ対策強化のための 補正予算が成立 約400億円

第5波の感染爆発で新規陽性者は8月中旬にピークを迎え、9月に入ってから減少。これまでには見られなかった急激な減少は、ワクチン接種浸透の効果とも指摘されていますが、冬場に向けた再拡大、新たな変異株への警戒も必要です。そこで、コロナ対策強化のための補正予算を計上、ワクチン接種の加速、新たな治療薬の導入、病床の確保など、公明党の提案・要望を反映した施策の充実が図られます。

## 横浜市会 令和3年 第3回定例会が開会中



9月10日(金)～10月22日(金)まで

## 《主な施策》

### ●ワクチン接種の加速へ

1. 若者向け接種センターを開設 → 対象:16～39歳 場所:関内中央ビル(JR関内駅徒歩1分)
  2. 深夜・早朝接種を実施 → 対象:18歳以上 場所:横浜市大付属総合医療センター(浦舟町)
  3. 高齢・障害者への訪問接種を促進 → 実施医療機関へ協力金
  4. 夜間(17時以降)対応の接種会場を増設 → 15か所へ
  5. 身近な医療機関での予約を取りやすく → 1.5倍(8月比)のワクチンを供給、毎週9万人の予約枠を確保。
- ※大規模接種会場(横浜ハンマーヘッド)は10月4日より予約を再開

### ●安心の自宅療養へ必要な医療を提供

1. 抗体カクテル療法を本格実施
2. ステロイド投薬治療を本格実施
3. 「コロナ専門病院」の開設を検討

### パルスオキシメーターの活用を促進

公明党として昨年のコロナ流行の早期の段階から「パルスオキシメーター」の積極的な活用を提案。現在、全ての自宅療養者に貸与され、日々の健康観察に活用されています。



### ●市内の飲食店支援

#### 「レシートを使ったポイント還元・キャッシュバックキャンペーン」を実施

- ・コロナ感染症の収束状況を見ながら、12月から実施予定
- ・テイクアウト含む利用金額の5%を1人1万円を上限に還元
- ・予算規模2億円で40億円の経済効果を見込む

### ●その他

- ・検査体制の充実、クラスター対策の強化(継続)
- ・重症・中等症患者の病床確保(継続)
- ・文化芸術企画の開催支援(継続)
- ・MICE誘致・開催を支援(継続)

## 新市長の資質・政治姿勢を問う

9月10日の議案関連質疑において、公明党・望月康弘議員より「コロナ対策への認識」を問いました。山中竹春市長は選挙中コロナの専門家を自称し、横浜市のワクチン接種の遅れを糾弾し「医療崩壊!」と市民を煽っていましたが・・・「接種は遅れていませんでした」、医療崩壊は「すると思いましたが」と。発言に十分な裏付けもなく、市長が掲げる「データに基づく政治」に疑問符が付いています。

また一般質問(9月16日)で、公明党・斉藤伸一議員が「3つのゼロ」「全員給食」など市長が掲げる看板政策について財源確保や実現の見通しを尋ねましたが、全て「これから検討」と実質の無回答。「実現の道筋はノーブラン、とりあえず市民受けの良いことを並べてみました」というレベルで、大都市・横浜の市長として余りにもお粗末です。ともあれ、現在と将来にわたる市民生活の安心のために、一致できるところは協力し、相違する点は徹底的に議論を尽くしていきます。



## 子どもたちの学びにオンライン活用



9月の緊急事態宣言下では分散登校を行う一方で、生徒一人に1台配布したPC・タブレット端末を活用したオンライン授業の取組もスタートしており、教育委員会の担当者と現状や課題を巡っての意見交換を行いました。公明党市議団として強く求めている不登校児童・生徒への自宅学習への活用も始まっており、課題整理を進め、より効果的な仕組みを追求していきます。

## 区づくり推進会議を開催

9月7日、金沢区選出の市会議員、区長、各課幹部による定例会議をオンラインで開催、区予算の執行状況や目下のコロナ対応等を巡って質疑。感染爆発により286名(9月2日)にも達した区内の自宅療養者の健康観察や応急対応の課題を質すとともに、ワクチン接種の更なる推進を申し入れました。



### 小幡正雄・横浜市会議員の逝去を悼む

1979年の初当選、以後連続当選を重ね、11期42年務めた小幡正雄議員が9月6日に逝去。立場・主張は違えど、少子化問題を提起し続けるなど横浜市の将来を憂い、真剣な思索と行動を重ねておられた姿に、敬意と共感を抱いておりました。心から哀悼の意を表します。

## 金沢団地協同組合で職域接種を実施!



9月6日、鳥浜地区で操業する企業の従業員等を対象とした職域接種がスタート。11月1日までに1000名に対して2回接種を行う予定で、市内・区内在住はもちろん、出入りのある市外・県外に在住のトラックドライバーの方々なども対象としています。組合理事長らと共にスムーズな接種の様子も拝見。金沢団地の取組を皮切りに、金沢産連協でも所属企業の職域接種が行われており、接種推進への有意義な貢献、大変に有難いです。

## 通学路の安全対策が前進

### 京急富岡駅前 通学路の安全対策を実施!

5月に小学生児童が亡くなる痛ましい事故が発生した現地について、再発防止の早急な対策を求めていましたが、この夏休み期間中に当初予定の対策工事が完了しました。引き続き更なる安全性の向上へ、安全啓発などソフト面の対策の実施とともに、中長期的なハード対策についても検討を進めていきます。



▲赤色ボール新設で歩行者の巻き込み事故を防止



▲ガードパイプの隙間を無くす+歩道の拡幅 = 歩行者の飛び出しを防止



▲横断歩道の再塗装+赤色線を追加してクルマからの視認性を向上



▲駅裏の横断歩道にも同様の塗装を実施

